

## 育苗床の早期除雪と作業スケジュール

育苗床の除雪を 3 月中旬に行った場合、雪が締まり重くなるので、

- ① 飛ばしにくい
- ② 除雪機が故障しやすい ⇒ 除雪が遅れる
- ③ 鉄骨が曲がる危険性が高まる

などのリスクがあります。

また、降雨による氷層形成の懸念が高まります。

表 1 は、2 月下旬から 4 月にかけての水稻と秋まき小麦の作業体系をまとめたものです。

特に、秋まき小麦は、肥料切れになっています。起生期の追肥が遅れると収量不足になります。水稻は種前には、秋まき小麦の起生期追肥を済ませる必要があり、早期の融雪材散布が不可欠です。

そのためにも、育苗ハウスの早期除雪を実施しましょう。

表 1. 秋まき小麦の起生期追肥を加味した理想の作業体系

区分	2 月		3 月		4 月		
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
水稻	育苗	除雪		ビニール張り		は種	
	本田		融雪材散布				耕起
秋まき小麦						追肥	

表 2 は、過去 6 カ年の 2 月下旬～3 月上旬の除雪に適した日数を示したものです。

表 2. 除雪に適した日数

時期	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
2 月下旬	4	3	1	2	5	6
3 月上旬	3	6	5	3	0	0

\* 除雪に適した日は、「日照時間が多く、風が少なく、降雪がない日」としました。

\* 最低気温が $-20^{\circ}\text{C}$ を下回った日は日照時間も多く、除雪には最適です。

週間予報から、除雪開始日を計画しましょう。